目標2 母性ならびに乳幼児の健康の確保と増進

子育てのための情報、知識の提供や育児不安解消のための相談体制を強化し、母子保健事業の充実を図るとともに、食育の推進や虫歯予防、望ましい生活習慣の確立に取り組み、地域との連携のもとに支援体制を充実させていきます。

（施策1）安心して妊娠・出産できる環境づくり

半数以上を占める第1子を出産する母親が、妊娠時期から育児に対する心の準備を整えるサポートと、父親や家族の協力を促せるよう健康教育など啓蒙を行っていきます。

（施策2）乳幼児健診・相談など支援体制の充実

健診での要精査児童には早期受診の勧奨、要観察児童には家庭訪問や経過観察のため、健診への呼びかけを実施するとともに、保健師等スタッフによるカンファレンス（相談会議）の充実を図り個々にあった指導内容であるかを評価していきます。

（施策3）虫歯のない子を育てる環境づくり

虫歯予防に対する意識を高めるため、乳幼児期から歯科衛生士による歯科指導を取り入れるとともに、広報やホームページを活用し、地域住民に「虫歯予防」に関する情報を提供していきます。

（施策4）予防接種の接種率向上

出生時に配布している予防接種手帳と一緒に、ポリオの予定表と予防接種を説明する「しおり」を配布します。また、広報やホームページ等を活用し情報を提供していきます。

（施策5）子どもの健全な成長のための食育の推進

離乳食指導など早い時期から関わるとともに、各年齢に応じた食育指導を実施します。

（施策6）小児医療の充実

輪番制による在宅当番医制度の継続を行いながら、病院群輪番制事業の継続を医療機関と協議し、休日や夜間の診療の充実を図ります。

目標3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

次代を担う子ども達が、幅広く知識を蓄え、豊かな感性と生活力を身につけるなど、調和の取れた人間に成長するために、教育環境や地域の育成環境の充実を図っていきます。

（施策1）次代の親の育成

人間尊重、生命尊重、男女平等等の教育に関する指導を充実させます。

また、保育所や幼稚園で、中・高校生が乳幼児と触れ合う機会を広げ、子育ての楽しさや親としての責任を学習する時間を増やします。

（施策2）子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備

豊かな心をはぐくむため、道徳教育の充実を図るとともに、地域の協力を得ながらさまざまな体験活動を行っていきます。

また、いじめ、少年非行等の問題行動や不登校に対応するための専門的な相談体制を強化します。

（施策3）家庭や地域の教育力の向上

近年の核家族化、少子化、地域の地縁的なつながりの希薄化等、家庭の教育力の低下が育児不安、児童虐待の背景にあると考えられることから、公民館教室、乳幼児健診等の機会を活用し、家庭教育に関する学習機会や情報提供を行います。

（施策4）子どもを取り巻く有害環境の改善

性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌、DVD、コンピューターソフトの販売等に対しては、警察、PTA、地域住民と連携・協力をして、関係業界に対する自主的措置を働きかけます。

にかほ市次世代育成支援行動計画

目標4 子育てを支援する生活環境の整備と子供等の安全確保

安全に、安心して暮らせるように防犯意識を高め、市民一人ひとりが人と人との絆を大切にしながら、互いに支え合い、助け合い、安心して暮らすことができる地域社会を築きます。

（施策1）やさしい生活環境基盤の整備

子どもや子ども連れの親子が安心して外出できるように、生活環境基盤の整備を推進します。

また、道路施設や交通安全施設には、バリアフリー対応型施設の導入に努めます。

（施策2）子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進と安全・安心なまちづくりの推進

子どもの登下校時や遊び場等の安全・安心を確保するため、通学路安全点検の実施、登下校時の見守り活動、危険箇所の改善、その他児童に対する情報の周知および注意喚起等の活動を行っていきます。

（施策3）子どもの交通安全を確保するための活動の推進

子どもが参加できる体験型の交通安全教室を実施し、交通安全教育を推進します。

また、チャイルドシート購入時の助成を行います。

目標5 職業生活と家庭生活の両立の支援

男女がともに働き、子育てをしていくには、企業等の主体的な協力が不可欠です。育児休業制度定着等の啓発や情報交換を行い、子育てしやすい職場環境づくりへ理解と協力を求めていきます。

（施策1）多様な働き方の実現および男性を含めた働き方の見直し

男女がともに子育てと仕事が両立できるように、育児休業制度の普及・定着が促進されるよう、事業所等への働きかけを進めていきます。

（施策2）仕事と子育ての両立の推進

市民一人ひとりが労働者として仕事上の責任を果たしつつ、生活者として家族生活など個人や家族のライフステージに応じた多様な希望の実現を可能にする「ワーク・ライフ・バランス」の実現を推進します。

※ワーク・ライフ・バランス…女性が安心して結婚・出産でき、男女ともに仕事も家庭も大事にしながら生活できる体制

目標6 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進

子育て中の保護者等がゆとりをもって、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

また、児童虐待の通報・早期発見・援助など、適切な対応につなげられるよう、要保護児童対策地域協議会のネットワークを強化します。

（施策1）児童虐待防止対策の充実

子育てに関する施設や学校などで、かけがえのない子どもの大切さ、いじめや虐待の予防啓発を行います。要保護児童対策地域協議会で各種団体と連携をとり、児童虐待の未然防止や早期発見に努めます。

また、子どものしつけ、養育、発達に関すること、学校生活、家庭環境などの相談を家庭児童相談員が行います。

（施策2）障がい児支援の推進と家庭支援

すべての心身障がい児・乳幼児が、必要な相談・指導および療育を受けられるよう、医療や療育関係者からなるネットワーク体制を構築します。

（施策3）ひとり親家庭等の自立支援の推進

ひとり親世帯が安心して子育てと就業ができるよう、保育サービスや放課後児童の施策を充実させるほか、緊急時等に生活支援員を派遣する体制を整備します。

にかほ市次世代育成支援対策地域協議会委員

（敬称略・順不同）

○主任児童委員　新田協子
○象潟小学校長　青柳正隆
○象潟中学校PTA会長　須田美奈
○金浦小学校PTA会長　小野良治
○保育協議会副会長　今野富士子
○小出保育園保護者会会長　池田和志
○仁賀保幼稚園PTA会長　長谷川哉子
○仁賀保子育て支援センター　阿部昌子
○学童保育のびやかサークル　代表　竹内真利子
○子育てサポートかざぐるま　代表　庄司利恵子
○生涯学習奨励員　周防政子
○市工業振興会副会長
三浦電子㈱代表取締役　三浦俊之

▼問合先
すくすく子育て支援課
☎32・3040